

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成25年1月10日(2013.1.10)

【公開番号】特開2012-161620(P2012-161620A)
 【公開日】平成24年8月30日(2012.8.30)
 【年通号数】公開・登録公報2012-034
 【出願番号】特願2012-75897(P2012-75897)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/22 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/00 G

A 6 1 B 5/22 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月16日(2012.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザの血糖値の予測経時変化を示す予測血糖値変化曲線を算出する予測血糖値算出装置であって、

前記ユーザの第1の日時における第1食事情報と第2の日時における第2食事情報とを取得する食事情報取得部と、

前記第1食事情報と前記第2食事情報との相対関係情報と、前記第1の日時と前記第2の日時との差である経過時間情報とを用いて、第1の前記予測血糖値変化曲線を算出する第1予測血糖値算出部と、

前記ユーザの消費カロリーに関する消費カロリー情報を取得する消費カロリー情報取得部と、

前記消費カロリー情報を用いて、第2の前記予測血糖値変化曲線を算出する第2予測血糖値算出部と、

前記第1の予測血糖値変化曲線と、前記第2の予測血糖値変化曲線とを統合することにより、前記食事および前記消費カロリーに基づく第3の前記予測血糖値変化曲線を算出する第3予測血糖値算出部と

を備えることを特徴とする予測血糖値算出装置。

【請求項2】

前記第1食事情報と前記第2食事情報とは、少なくとも糖質量及びGI値を含むことを特徴とする、請求項1に記載の予測血糖値算出装置。

【請求項3】

前記相対関係情報と前記経過時刻情報とに基づいて前記第1の予測血糖値変化曲線の血糖値上昇度合いを決定することを特徴とする、請求項1又は2に記載の予測血糖値算出装置。

【請求項4】

前記消費カロリー情報は、活動量情報、脈拍情報、体調情報のうち少なくとも1つに基づいて決定された予測消費カロリー情報を含むことを特徴とする、請求項1～3いずれかに記載の予測血糖値算出装置。

【請求項 5】

前記予測消費カロリーは、体調が良い時ほど消費カロリーの単位時間あたりの変化量が大きくなるように可変に設定されることを特徴とする、請求項 4 に記載の予測血糖値算出装置。

【請求項 6】

前記体調情報は安静時脈拍値または睡眠時間に依じて可変に設定されることを特徴とする、請求項 4 ～ 5 いずれかに記載の予測血糖値算出装置。

【請求項 7】

ユーザーの血糖値の予測経時変化を示す予測血糖値変化曲線を算出する予測血糖値算出方法であって、

前記ユーザーの第 1 の日時における第 1 食事情報と第 2 の日時における第 2 食事情報とを取得する食事情報取得工程と、

前記第 1 食事情報と前記第 2 食事情報との相対関係情報と、前記第 1 の日時と前記第 2 の日時との差である経過時間情報とを用いて、第 1 の前記予測血糖値変化曲線を算出する第 1 予測血糖値算出工程と、

前記ユーザーの消費カロリーに関する消費カロリー情報を取得する消費カロリー情報取得工程と、

前記消費カロリー情報を用いて、第 2 の前記予測血糖値変化曲線を算出する第 2 予測血糖値算出工程と、

前記第 1 の予測血糖値変化曲線と、前記第 2 の予測血糖値変化曲線とを統合することにより、前記食事および前記消費カロリーに基づく第 3 の前記予測血糖値変化曲線を算出する第 3 予測血糖値算出工程と

を備えることを特徴とする予測血糖値算出方法。

【請求項 8】

前記相対関係情報と前記経過時刻情報とに基づいて前記第 1 の予測血糖値変化曲線の血糖値上昇度合いを決定することを特徴とする、請求項 7 に記載の予測血糖値算出方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】予測血糖値算出装置、予測血糖値算出方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、予測血糖値算出装置、予測血糖値算出方法に関する。